

北米原産



アライグマの目撃情報をお寄せ下さい

ハクビシン

東南アジア原産

による被害も増加中です



タヌキより
顔が白っぽい

アライグマ

指が細長く爪が鋭い
(木にも登り、壁などにも
5本のひっかけ傷を残す)

尾がしま模様
(タヌキにはない)

アライグマは食肉目アライグマ科。体重 4~10kg。体長 50~60cm。法律で飼育などが禁止されていますが、かつてペットとして輸入され、逃がされたものが野生化し、全国で増えて問題になっています。生態系、農業、家屋への被害が甚大です(軽井沢では特に家屋侵入被害)。長野県での繁殖確認は軽井沢が最初で、これまでに町内で 60 頭余りが捕獲されています。



尾が細長く
先が黒い

ハクビシン



間違われやすいニホンアナグマ

イタチ科で、ミミズや昆虫などを食べる

ハクビシン(左)は食肉目ジャコウネコ科。体重 2~4kg。体長 50~60cm。東南アジアに仲間が多く、木登りが得意で、小動物や果実を食べます。顔、手足と尾の先が黒っぽく、鼻筋の白線が目立ちます。尾が細長いのも特徴です。町内では家屋の屋根裏で出産し、糞尿の被害を多く出しています。農業被害や生態系への影響も懸念されます。

アライグマを目撃されたり、天井裏で物音がしたりする場合は、右記までご連絡下さい。

NPO 法人 生物多様性研究所 あーすわーむ



0267-45-5642

軽井沢町環境課野生鳥獣対策係

0267-45-8556